

心肺蘇生法を体験して

射水市立小杉南中学校 2 学年



射水市医師会の医師や看護師、射水消防署の救急救命士や女性消防団員の方々を講師に迎え、心肺蘇生法実技講習会を行いました。命の大切さや救急車が来るまでの応急手当の手順を、実習人形やAEDトレーナーを使って学びました。実施後の感想を紹介します。



今日印象に一番残ったことは、講師の方から教えていただいた他の市の中学生の話です。友達が部活中に倒れた時に周りの生徒がしっかりと知識をもっていたため、倒れた友達は助かったそうです。知識をもっていることで、一つの命を救うことができるということが分かり、しっかりと話を聴くことができました。

1 組 男子

今日の講習会では、救急車が来るまでにどう行動するかが大切だと分かりました。ほんの1秒が大切で、生死を分けるものなのだと思います。実際に心肺蘇生法をやってみて、こんなにすべきことがいろいろあるのだとびっくりしました。今回の講習会で、体験できてとてもよい経験になったと思います。

1 組 女子



救急車が来るのは6分から7分で、倒れている人の命は3分ほどで助けられなくなることもあることを初めて知りました。救急車が来るまでに、しっかりと心肺蘇生法をしないとだめだということが分かりました。手本を見たときに実際にやってみるのは少しはざかしいと思ったけれど、人の命を助けるための行動だと思い大きな声を出してやりました。家に帰ってから復習しようと思います。

1 組 女子

救急車は来るまで6分ほどかかり、その間に胸骨圧迫などをすると助かる可能性が高くなることを知りました。AEDの使い方も学びました。もしも実際に心肺蘇生が必要な状況になったら少しパニックになるかもしれないけれど、もしもの時には、自分から進んでがんばろうと思いました。

2 組 男子





心肺蘇生法のやり方が分かりました。もし、登下校中などに倒れている人がいたら、今日習ったことを生かしたいです。人の命を助けるには、救急車が来るまでの間にどう行動するかが大切だということが分かりました。本当に倒れている人がいたら、パニックにならずにいられるか不安だけれど、冷静に判断できるようにしたいです。

2組 女子

今日は、たくさんのお話を学ぶことができました。
 まず倒れている人がいたら ①周囲の安全を確認 ②その人の意識を確認 ③周囲の人の助けを借りて119番通報、AEDの準備 ④胸骨圧迫 ⑤人工呼吸をするという手順を学びました。
 とても貴重な経験をさせていただきました。

2組 女子



もしかしたら、自分の周りで人が倒れることがあるかもしれません。そのときに備えて大切なことが学べたと思います。声を出して周りに知らせること、胸骨圧迫・人工呼吸の方法やコツ、AEDの使い方など、実際にやるとどれも大変だったけれど、人の命を助けるために必要なことを学べたのでよかったです。

3組 男子

救急車が来るまで、倒れている人をただ見ているだけではだめだと分かりました。胸骨圧迫や人工呼吸、AEDでの電気ショックなど、自分ができるところをすることで、命が助かるかもしれないので、もしもの時には、今日教えてもらったことを思い出して積極的に行動したいと思います。

3組 女子



心肺蘇生の基本的なことが今日の講習で学ぶことができました。もしも、現実に人が倒れていたら、今日の講習を受けていなかったら何をすればよいか分からなくて何もできなかったかもしれません。でも今日の講習で、どんなふうに行動すればよいかを具体的に知ることができました。もしもの時には、行動できるようにしたいと思います。

3組 男子